

文京・真砂生まれの 村瀬守保写真展

日本兵が撮った日中戦争



一人一人の兵士を見ると、

みんな普通の人間であり、

家庭では良きパパであり、

良き夫であるのです。

戦場の狂気が人間を野獣に

かえてしまうのです。

このような戦争を再び

許してはなりません。

村瀬守保

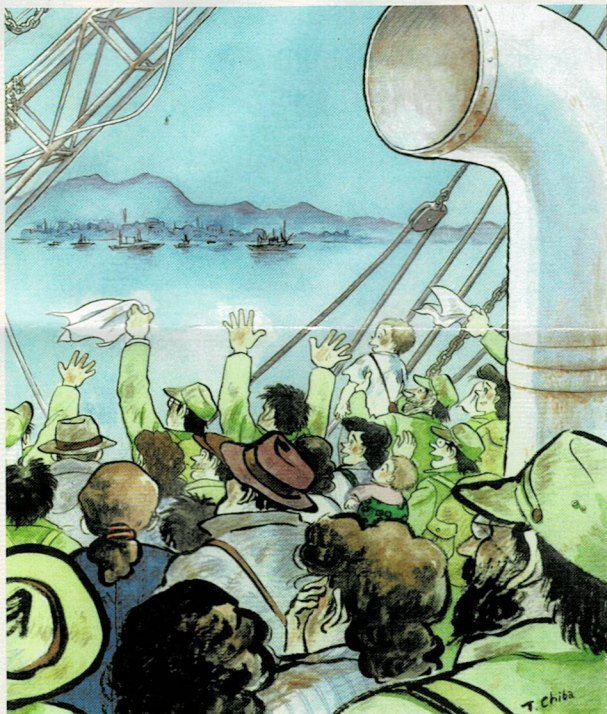
2020年 戦後75年 日中友好協会創立70周年 文京平和宣言40周年記念

第2回

平和を願う 文京戦争展・漫画展

入場無料

とき 8月10日(月) 13:00~18:00 8月11日(火) 10:00~18:00 8月12日(水) 10:00~16:00 ところ 文京シビックアートサロン(展示室2)



漫画家たちの満州引き揚げ証言

DVD
上映

予定

- 証言1 侵略戦争
- 証言2 中国人強制連行
- 証言3 20世紀からの遺言



○交通
東京メトロ後楽園駅・丸ノ内線(4a・5番出口)
南北線(5番出口)徒歩1分
都営地下鉄春日駅三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分
JR 総武線水道橋駅(東口)徒歩9分

主催 「平和を願う文京戦争展」実行委員会

協賛 日中友好協会文京支部 / 日中友好協会東京都連 / 文京区労働組合協議会 / 文京区労働組合総連合 / 新日本婦人の会文京支部
東京保健生活協同組合 / 文京九条の会連絡会 / 東洋大学社研 / 文京革新懇

2年半にわたり中国各地で撮影し、 家族に送られた日本兵の日常

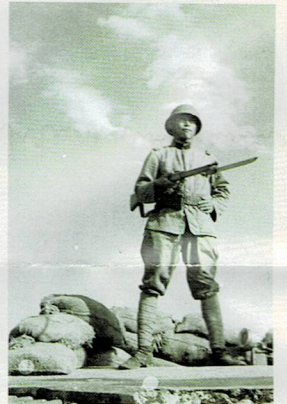
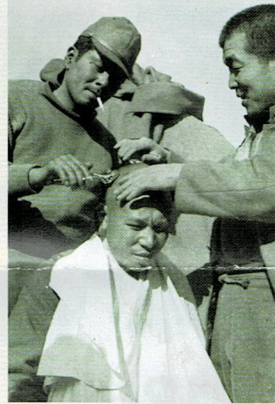
村瀬守保 (1909年～1988年) は1937年(昭和12年)7月に召集され、中国大陸を2年半にわたって転戦。カメラ2台を持ち、中隊全員の写真を撮ることで非公式の写真班として認められ、約3千枚の写真を撮影しました。

天津、北京、上海、南京、徐州、漢口、山西省、ハルビンと、中国各地を第一線部隊の後を追って転戦した村瀬さんの写真は、日本兵の人間的な日常を克明に記録しており、戦争の実相をリアルに伝える他に例を見ない貴重な写真となっています。

一方では、南京虐殺、「慰安所」など、けっして否定することのできない侵略の事実が映し出されています。

主な年表と村瀬守保さん略歴

1909年(明治42年)12月 文京区真砂町に生まれる
 1927年(昭和2年)7月 私立豊山中学校諭旨退学
 以後 人夫、新聞配達員、商店員、テキヤ、
 船乗り、トラック運転手、タクシー運転手
 1931年(昭和6年)9月 柳条湖事件(満州事変)
 1932年(昭和7年)1月 第1次上海事変
 1937年(昭和12年)7月 盧溝橋事件
 召集 輜重兵 補充兵 二等兵
 同年8月 第2次上海事変
 同年12月 南京事件
 1939年(昭和14年)8月 ノモンハン事件
 1940年(昭和15年)1月 召集解除
 同年3月 会社員・株三田鉄工所 工場長、社長
 1945年(昭和20年)8月 敗戦
 株三田発動機、株共バソ、アルプスミン株、アルプス産業株社長
 その後
 埼玉設備工業株 社長
 全国商工団体連合会 常任理事
 埼玉県商工団体連合会 副会長など歴任
 1988年(昭和63年)7月 死去 78歳



中国からの 引揚げを体験した 漫画家たちの記録

赤塚不二夫、ちばてつや、古谷三敏、北見けんいち、森田拳次、高井研一郎、山口太一など中国から引き揚げてきた漫画家たちが、少年時代の忘れようとして忘れられない過去をまとめてマンガに描いた作品を展示しています。

